



# 野生動植物に触れる

世界自然遺産知床、ポー川史跡自然公園、日本最大の砂嘴  
野付半島などで手付かずの自然や野生動植物と触れ合う



### Route

知床峠 → 羅臼(クルーズ) →  
道の駅「知床・らうす」 → 標津(ポー川) →  
野付半島 → 尾岱沼 →  
道の駅「おだいとう」 → 標津

📍 120 km 🚗 2時間30分

### おすすめの季節

海ではクジラ、湿原では色とりどりの  
花が咲き誇る春から夏

## 知床羅臼ネイチャーウォッチングクルーズ

世界遺産「知床」の東側、羅臼の海は水深が一気に1,000m以上になるため、流水によってもたらされた豊かな栄養が植物プランクトンや動物プランクトンを発生させます。それらが魚を育み、シャチやクジラ、イルカたちが集まります。また、豊富な餌を求め、遥か赤道を越え南半球から渡ってくるハシボソミズナギドリが多い時には何万羽という群れになり、海を黒く染めることから圧巻の野生を感じることができます。

📍 8,000円～ 🕒 2時間30分 ☎ 0153-87-3330 (知床羅臼町観光協会)



## 野付半島・野付湾

知床半島と根室半島の間に位置し、全長26kmにもなる日本最大の砂嘴の野付半島と囲われた野付湾。あわせてラムサール条約に登録されています。5月から10月までは次々と花が咲き誇ります。半島を通る道路は通称「フラワーロード」と呼ばれ、初夏には海に浮いたお花畑の中をドライブする感覚を味わえます。また、多い時で2万羽の渡り鳥が飛来し、特にコクガンの国内最大の中継地となっています。夏・秋は北海道遺産「打瀬舟」によるホッカイシマエビ漁が行われています。

## ポー川史跡自然公園

氷河期の生き残りと言われる湿原性植物が花を咲かせる「国指定天然記念物標津湿原」の中を散策できる木道や、擦文文化期の集落跡の「国指定史跡伊茶仁カリカリウス遺跡」があり、約一万年にも及ぶ人類の足跡を見ることができます。

🕒 9:00~17:00 (最終入園16:30)

📅 11/24~4/28

📍 330円 ☎ 0153-82-3674



## 野付半島ネイチャーセンター

野鳥や花などの最新情報を入手することができます。また、ネイチャーガイドを頼むと野付半島の感動スポットを案内してくれます。施設内にはお土産コーナーやレストランも併設されており地域の味覚も味わえます。

🕒 9:00~17:00 (11月~3月は~16:00)

📅 年末年始 ☎ 0153-82-1270



## 北太平洋シーサイドラインのハイライト

北太平洋シーサイドラインは十勝の広尾町から根室市の納沙布岬まで続く、全長321kmに及ぶ海岸線の総称ですが、中でも釧路町から根室市まではそのハイライトと言えるもので、次々に絶景の現れる、日本離れた景観が人気のドライブルートになっています。愛冠岬、涙岬、霧多布岬、落石岬といったスケールの大きな岬、霧多布湿原はもちろん、沿道に咲き乱れる花々、またこのルートは霧がかかることが多いことなどから、別名「岬と花の霧街道」とも呼ばれています。